

平成 26 年度青森市子ども会議（ねぶた祭り参加）開催概要

- 1 日時 平成 26 年 8 月 5 日（火） 18 時 00 分～21 時 00 分
- 2 集合場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 平成 26 年度青森市子ども会議委員 25 名（欠席者 7 名）
平成 26 年度青森市子どもサポーター1 名（欠席者 2 名）
青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員 2 名
弘前大学学生ボランティア 8 名
事務局 4 名
- 4 活動内容 ・ねぶた祭りに参加し、子ども会議委員がデザインを考案した横断幕やのぼり旗を掲げながら、観覧者に対し子どもの権利、青森市子どもの権利相談センターについての普及啓発活動

5 開催概要

いよいよ、青森市子ども会議の活動の中でも初めての試みとなる、「ねぶた祭りに参加しての子ども権利等に関する普及啓発」を行う日がやってきました。

この日のために、子ども会議委員がデザインを手掛けた横断幕やのぼり旗の製作を急ピッチで進めてきました。

また、子ども会議委員がデザインした「けんりはかせ」を背中にプリントしたTシャツを作り、みんなで着用しました。

しかしながら、この日は生憎の空模様。日中から雨が降り、所々で弱まるものの、雨が上がる様子はありません。もし、ねぶた祭りが雨天中止となれば、これまで皆で準備を進めてきた苦労が水の泡になってしまいます。

はたして、ねぶたは中止となってしまうのか？雨天決行するのか？子ども会議委員はもちろんのこと、事務局にも緊張が走ります。

そのような中、予定どおり「ねぶた祭り」決行のお知らせが入りました。天気は回復しませんが、予定どおり決行することとなりました。

集合時間が近づくにつれ、子ども会議委員が続々と集まり、皆のやる気を感じられます。この日は、子ども会議委員のほか、弘前大学の学生 8 人の皆さんが臨時サポーターとして、お手伝いしてくれることとなっており、学生の皆さんも悪天候の中、集まってくれました。

午後 6 時、集合場所に集まった子ども会議委員たちは、Tシャツに着替え、参加中、事



故や怪我のないようにとの、事務局からの注意事項を真剣に聞いています。

横断幕班を先頭に、のぼり旗班が続き、観覧者側にポケットティッシュ、鈴の配布班が陣取り、普及啓発を行います。

リヤカーに飲み物、配布物を積み込み、準備完了！いざ、ねぶた出発地点へ移動です。万が一に備え、人数分の雨具も用意しましたが、幸い雨も上がり、子ども会議委員たちは誰一人雨具を持たず、気合十分です。

ちなみに、この日、子ども会議が参加するねぶた運行団体は「青森市役所ねぶた実行委員会」、出発地点は、新町通りと柳町通りの交差点周辺でした。



待機場所（出発地点）に到着し、予定していた配置につきました。後はいよいよ 19 時 10 分のねぶた祭り開始の花火が上がるのを待つのみです。



ドーンという花火の音を合図に、囃子が始まり、ねぶた祭りスタートです。

運行団体と一緒にゆっくり歩きながら、横断幕とのぼり旗を掲げ、子どもの権利や子どもの権利相談センターのPR用ポケットティッシュやメッセージを添えた鈴を観覧者に配布しながら、普及啓発活動を行いました。

沿道からは、「がんばってー」などといった、たくさんの声援をいただき、委員たちからも笑顔が絶えませんでした。

順調に活動が進んでいるように思いましたが、ここにきてアクシデント発生！新町通りからホテル青森を右折し、国道に出ようとした矢先、それまで何とか持ちこたえていた天候が一気に悪化。その日一番強い豪雨が発生しました。

しかしながら、雨具を持ってきていなかった子どもも会議委員たちはびしょ濡れとなってしまいましたが、誰一人動じることはありませんでした。

そのまま活動を続けましたが、豪雨もやむことがなかったため、青森市役所前を通り過ぎた時点で、委員たちの体調も考慮し、子ども会議委員による、ねぶた祭りに参加しての普及啓発活動を終えることとしました。

集合場所だった「青森市総合福祉センター」に戻って、濡れた衣服を着替えた後に一休みして、無事、この日の活動は終了となりました。

弘前から来ていただき、活動のお手伝いをしてくれた弘前大学学生の皆さん、青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員の皆さん、そして、子ども会議委員・子どもサポーターの皆さん、悪天候の中本当にお疲れ様でした。



※観覧者に配布したポケットティッシュ



※このメッセージに鈴を入れて、配布しました

